

「卒業生による就職・進学の一ポイント・アドバイス」に参加して

看護科2年 近藤 菜帆(41期生)

2月26日に「卒業生による就職・進学の一ポイント・アドバイス」に参加しました。就職活動についてはまだあまり意識はありませんでしたが、四月からは領域別実習に加え、就職活動や国家試験対策を同時進行で行わなければならないということを、改めて実感させられました。

先輩方からの講演で印象に残ったのは、就職や国試に関する具体的対策についての話でした。就職のために始めたボランティア活動が、就職活動だけでなく自分の看護観にもつながったという話から、ボランティア活動の意義を知ることができました。また、合同説明会などにも積極的に参加をして、自分が就職したい病院を明確にしておく必要性がわかりました。さらに、国家試験の体験談からは、国家試験の勉強は、一人ではなく周りの友人たちと共に頑張っていく大切さも教えていただきました。

今回、卒業生のお話を聞くことで、自分の進路について今一度考えることができました。そして、実習はもちろん国家試験に向けても周りの友人たちと共に頑張ろうと思える力を頂きました。卒業生である三名の先輩方はそれぞれの道に進まれ、非常に輝いておられました。私も自分の道に進むために、後悔することのないよう取り組んでいきたいと思えます。そして、今後辛いことがあった時には先輩方のお話を思い出して、自分をしっかり持って頑張りたいと思えます。

今回、このような機会を設けてくださりありがとうございました。

